

いのち、痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL



地域医療により大きく貢献!!

第18号

平成20年11月

災害拠点病院
病院機能評価認定 臨床研修病院

医療法人財団 池友会

福岡和白病院

〒811-0213
福岡市東区和白丘2丁目2-75
TEL.092-608-0001
E-mail:info@f-wajiro.biz
http://www.f-wajiro.biz東区自衛消防隊
操法大会優勝

第27回東区自衛消防隊操法大会で優勝を果たしました。もしもの際には、迅速な消防活動をお任せ下さい。

大海水浴



新宮海岸にて、「大海水浴」を行いました。日頃、海に行くことのない職員も多く、この機会に海を満喫しました。家族連れで、職場とは違う一面も垣間見ることができました。

トピックス

外来納涼会



外来納涼会と銘打って、内科の渡辺淳先生のバンド演奏が天神でありました。普段の物静かな(?)雰囲気とは違い、エレキギターの演奏をされ、参加者一同、盛り上がりました。

第17回合同学術
研究発表会

恒例の合同学術研究発表会が開催されました。その中で、医局の吉田先生と看護助手の秦さんが銀賞を受賞しました。

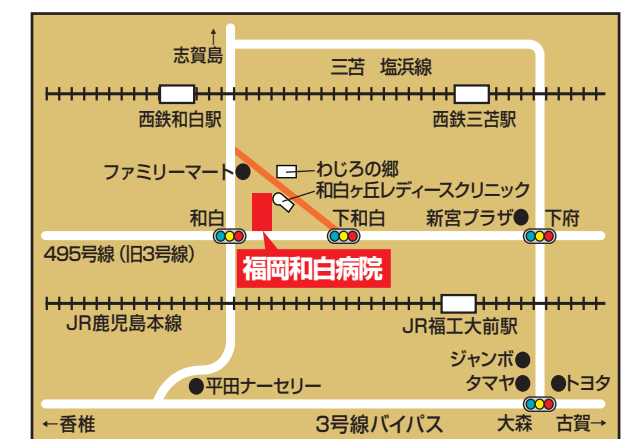
福岡和白病院の基本理念と基本方針

基本理念

手には**技術**、頭には**知識**、患者様には**愛**を

基本方針

1. 高度医療 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
2. チーム医療 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援まで、ニーズに沿った医療を提供します。
3. 地域医療 いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。



離島や遠隔地の救急医療に貢献 民間医療用ヘリ「ホワイトバード」が10月から本格稼働！

収録日 二〇〇八年十月九日
取材ライター 石田 真奈美



美しい白い機体の「ホワイトバード」。遠隔地の救急医療で活躍が期待される

医療法人財団 池友会 福岡和白病院 救急搬送システム部 部長
玄海ヘリクリニック 所長 富岡 譲二

医療法人財団「池友会」では医療用ヘリコプター「ホワイトバード」を独自に導入、6月27日から運航を開始しました。民間による医療用ヘリは、沖縄県を除けば全国初の試み。運航当初は福岡和白病院の屋上ヘリポートを拠点とした仮運用を行っていましたが、10月からは宗像市に整備した専用基地で本格運用を開始しています。

そこで今回、富岡譲二医師（救急搬送システム部部长、玄海ヘリクリニック所長）にホワイトバードの目的や意義などについて聞きました。

■搬送時間を短縮、迅速な救急医療で回復も早く

医療専用ヘリコプターによる患者搬送は、欧米では当たり前のこととして行われています。日本の場合、医療用ヘリコプター一機あたりの人口は1162万人ですが、米国では一機あたり約46万人、スイスでは約50万人、ドイツは約106万人、英国約232万人と、日本の数倍以上のヘリコプターが医療専用に使われているのが現状です。

医療用ヘリのメリットは多々ありますが、第一に挙げられるのが患者の搬送時間が、第一に挙げられるのが患者の搬送時間



患者は、ヘリ後部のドアからストレッチャーごと搬入する

の短縮。救急医療ではゴールデンアワーといって、予後を左右するメドとなる治療開始時間があります。例えば、重傷を負ってから1時間以内に手術等の治療が可能か、脳硬塞などの場合3時間以内に治療開始できるかなど、その時間内であれば救命率が高まり、入院や治療期間など回復にも大きく影響する、というものです。ヘリにまざる救急搬送手段はありません。

■対馬まで片道わずか30分。

ヘリならではの威力を発揮

医療用ヘリのメリットは多々ありますが、第一に挙げられるのが搬送時間の短縮。救急医療ではゴールデンアワーといって、予後を左右するメドとなる治療開始時間があります。例えば、重症のケガ（外傷）の場合、1時間以内に手術等の治療が可能か、脳硬塞などの場合3時間以内に治療開始できるかなどで、その時間内であれば救命率が高まり、入院や治療期間など回復にも大きく影響するとされています。ヘリコプターは時速200km以上で、海を隔てた離島や、厳しい山岳に阻まれた遠隔地域にも最短時間で到達できるため、このような地域に住まいの患者さんであってもゴールデンアワー内に最先端の治療を受けられるチャンスを大幅に拡大することができます。

福岡医師は「導入を検討するにあたりまず、日本初の民間医療用ヘリが活躍している沖縄県を視察しました。沖縄県は多くの離島を抱えており、民間ヘリはこのような離島の患者の医療に、なくてはならないツールになっていました。視察から帰り、池友会の蒲池会長に、「沖縄は離島が多いのでつまきいって

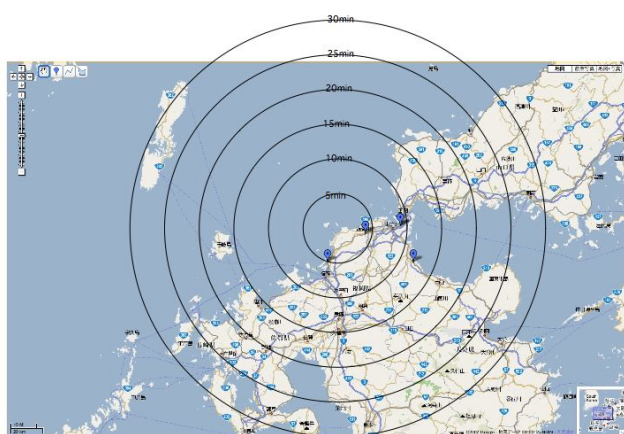
ますが、内陸では運用は難しいかもしれません」と報告したところ、蒲池会長から「北部九州にも離島はあるじゃないか」といわ

れました。確かに、北部九州にも、

吉岐・対馬をはじめとする離島は少なくありません。また、内陸部でも、最寄りの救急医療期間まで三時間近くかかる地域もたくさんあります。実際、あらためてこのような地域へ調査のために伺いし、同じ心筋梗塞や脳卒中であっても、治療成績が都市部に比べ格段に悪いことを聞かされ愕然としました。池友会は以前から地域医療・救急



機中の福岡医師。患者の頭部側に座る。機内ではヘッドセットを装着し、マイクを通じて互いに会話する。意外に揺れも少なく安定した飛行だ。



福岡北部からの飛行時間

各種ヘリの比較

	ドクターヘリ	消防ヘリ	自衛隊・海保ヘリ	民間ヘリ
医療装備	常備	必要時	必要時	常備
夜間飛行	△	△	○	×
現場着陸	○	○	○	×
吊り上げ	×	○	○	×
軽症搬送	×	×	×	○
下り搬送	×	×	×	○
県境越え	△	△	○	○



後方から見た「ホワイトバード」。近づくと意外に大きく迫力がある

■公的ヘリがタクシーなら、ホワイトバードは路線バス

ホワイトバードは、池友会グループ4病院（福岡和白病院、福岡新水巻病院、新行橋病院、新小文字病院）で共同運用されます。運用範囲は、池友会4病院からおおむね半径約200km以内で、吉岐・対馬はもちろん天草・大分や、山口県をはじめとする中国地方の一部、さらには四国の一部まで、広範囲にカバーできます。

「例えば対馬の場合、島内にも設備の整った医療機関はありませんが、幹線道路からは離れた地域の場合、医療機関まで車で2時間以上かかることも珍しくありません。ところが、ホワイトバードを用いれば、最短の場合、依頼から約1時間半ほどで福岡和白病院に到着でき、島内での移動より早く治療を開始できる可能性があります。これは、内陸のへき地でも同様で、その地域の基幹病院に陸路で搬送するより、ホワイトバードで池友会4病院に搬送したほうが、より早く医療が受けられるケースもあり得ます。」と福岡医師。

カンボジア小児病院長が訪問

カンボジアのアンコール小児病院（AHC）の新院長、ビル・ハスワース氏が6月12日、院長就任後初めて、福岡和白病院を訪問した。ビル新院長は、和白病院の蒲池真澄前院長を表敬訪問。病院内を見学した後、歓迎会に出席し友好を深めた。

AHCは特定非営利活動法人（NPO法人）「フレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダー」（FWAB、本部・米ニューヨーク）が1999年に設立され、日米両国の賛同者から集めた寄付金を主体に運営されている。蒲池前院長はFWABジャパン（本部・東京）の理事長を務めており、多額の寄付金のほか、毎年グループ内病院から医師や看護師を派遣して小児病院の発展のために尽力している。

ビル氏は蒲池氏との対談の中で「さらなる設備の充実と、衛生面の向上を図りたい」と意気込みを語っていた。

“アンコール・フレンズ基金” 賛助会員

皆様の賛助会員費は、〈アンコール小児病院〉の貴重な運営維持費となります。外来患者の一人当たりの薬代が平均120円ということを考えますと、皆様の年会費6千円が、約50人の子供たちの薬代を支え、救っていくことになります。アンコール小児病院維持のため、賛助会員として、末永いご支援をお願い致します。



賛助会員募集

年会費 一口6,000円
（口数制限なし）
〈アンコール・フレンズ基金〉
福岡事務局
〒811-0213
福岡市東区和白丘2丁目2番75号
福岡和白病院内
TEL: (092) 608-1210
FAX: (092) 608-1241
http://www.fwab.org



講演会の様子



ビル氏をかこんで

◎小説・池友会病院

医療法人財団「池友会」は、その35年間に渡る活動、足跡を描いたドキュメンタリー小説「池友会病院」下駄ばきICUを10月下旬に刊行した。

つづれかけた19床の病院からスタートし、35年間で7病院（1,400床）を軸に、看護学校など六つの医療系専門学校を経営する一大医療グループに成長した。

「おれは大学の医局をぶつつぶす」「医は仁術だが、病院経営には算術が不可欠」と言い切る池友会のリーダー蒲池真澄の痛快で破天荒な生き方を縦糸に、その仲間や医療スタッフのエピソードを横糸にして、救急医療や病院経営のあり方、医療制度など日本医療界の変遷を克明に描いている。

実在の人物が本名で登場。人間の葛藤や確執など重いテーマを扱っているが、ユーモアを交えた軽快なタッチで面白く読みつかせる。

パート1、パート2を同時刊行。問い合わせは西日本新聞社出版部＝092（711）5523。B6判。各1,000円。



救急医療器機をコンパクトに装備



ホワイต์バードは、ドクターヘリにも多く使われているEC135という機種。搭乗できるのは、操縦士のほか、整備士1人、医師1人、看護師1人、患者1人、患者付添い1人の計6人まで。患者は後部の搬入ドアからストレッチャーごと乗降させます。機内には心電図モニターや人工呼吸器、酸素供給装置など最新の救急医療器機をコンパクトに備えており、患者の頭部側に医師、横に看護師が着席します。

天候にもよりますが、飛行中は意外に揺れず、低騒音なのが特長。巡航速度は約230キロ、最大航続距離は635キロ。運航はおおむね午前9時～午後5時で、天候に支障がない限り365日体制で対応します。



ホワイต์バードの操縦席



医師の座席側のドアからみた機内



機内には、心電図モニターなど救急設備がコンパクトに搭載されている。下に見えるのが患者用のストレッチャー

また、ホワイต์バードが威力を発揮するのは救急患者さんの搬送だけではありません。池友会グループの新水巻病院には、人材・器材ともに整ったNICU（新生児用集中治療室）が設置されています。このNICUとホワイต์バードを組み合わせることで、医療施設が整っていない地域の妊婦さんを、迅速かつ安全に新水巻病院に搬送し、安心して出産してもらつことも可能です。

ところで、現在患者さんを搬送しているヘリコプターには、テレビドラマですつかり有名になった「ドクターヘリ」のほか、消防機関のヘリ、海上保安庁、自衛隊のヘリなどがあります。その中のドクターヘリとホワイต์バードは何が違うのでしょうか。

ドクターヘリは国と都道府県による補助事業で、患者さんを搬送するというより、医師や看護師を一刻も早く現場に搬送し、現場から治療を始めるのが主目的。このため、離発着の制限が大幅に緩和されており、田んぼのあぜ道や高速道路でも着陸することができます。しかし、その反面で、ドクターヘリの対象となるのは、ごく重症の患者さんに限られ、また、大きな医療機関での治療が完了した患者さん、患者さんの地元の医療機関に送っていく、いわゆる「下り搬送」はしない、などの制約があります。



搬送後は、次の飛行に備えてすぐ給油する。毎朝の点検は機体がら装備品まで200項目以上にも及ぶ。



福岡護二医師（左）と操縦士の浜田浩さん



「訪問診療」について

博修会 福岡和白総合健診クリニック 院長 山 永 義 之

※別表(1)

博修会和白総合健診クリニックは、平成 17 年 4 月、福岡和白病院の新築移転と時を同じくして、旧福岡和白病院にて開業し、現在に至っております。

事業内容として

- ①予防医学に関する分野
- ②在宅医療に関する分野 二部門があります。

(別表(1)参照して下さい。)

今回は、最近注目されている後者の“在宅医療”(“在宅訪問診療”)について、説明します。

現在の医療診療のスタイルは

- ①外来診療
- ②入院診療ですが、在宅訪問診療は、第3のスタイルに位置づけされます。

“在宅訪問診療”とは、在宅(自宅、又は老人ホーム等施設入居)の患者さんで、通院が困難な方に対し、同意を得て、計画的な医学管理のもとに、定期的に、自宅又は施設を訪問して診療を行うことをいいます。

現在、我々の診療所は、約 160 名の患者様を訪問診療しています。

脳血管障害後遺症、神経難病、担癌患者、認知症、慢性心不全、整形外科疾患等の方々が、訪問診療を受けています。

訪問診療の地域は、和白、美和台、宇美台、高美台、三苫地区はもとより、雁ノ巣、大岳、西戸崎、志賀島、古賀、新宮、香住ヶ丘等広範囲に渡っています。

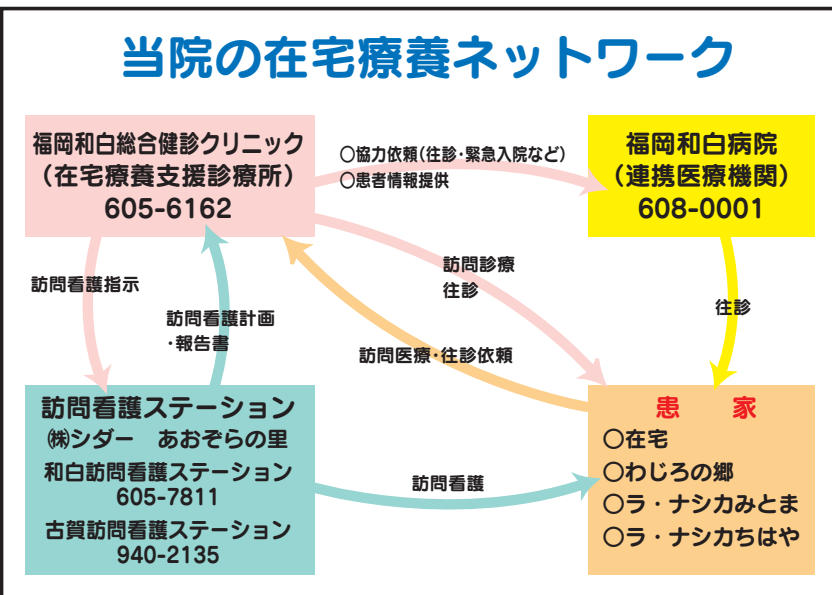
在宅医療は、訪問診療の他に、訪問リハビリテーション、訪問歯科診療、訪問薬剤指導等も受けることができます。

我々は“在宅支援診療所”として、福岡和白病院と連携しています。

普段は定期的に、我々医師と看護師が自宅又は施設を訪問し、診療します。

患者様の病状変化にて、急を要する場合があります。別表(2)のように、福岡和白病院訪問看護ステーションとネットワークを作り、24 時間対応できる仕組みになっています。すなわち、在宅訪問診療は、自宅又は施設で、入院診療を受けているシステムです。

※別表(2)



医療法人社団 博修会 福岡和白総合健診クリニック

事業内容

○予防医学に関する分野全般

- ・人間ドック《宿泊/日帰》
(PET ドック・脳ドック・循環器ドック・心臓ドック・肺癌ドック・生活習慣病ドック・レディースドック等)
- ・ミニドック・政府管掌生活習慣病予防健診・歯科健診
- ・巡回健診(胸部レントゲン車・胃透視車) 保有

○在宅医療に関する分野全般：在宅療養支援診療所

- ・24 時間対応
- ・医師と看護師による 定期的な訪問診療・随時訪問診療
(血圧測定・エコー検査・血液検査・薬の処方・注射 等)
- ・人工呼吸器・中心静脈栄養法・経管栄養法・在宅酸素療法管理 等
- ・在宅末期医療
- ・訪問看護ステーション・介護サービス事業所との連携

患者様の権利と義務

1. 思いやりのある、人権を尊重した医療を受ける権利があります。
2. 担当医師から症状及び治療方針について説明を受け、良く理解した上で自らの意志に基づき治療方法を選択したり、セカンドオピニオンを求めたり、また治療を拒否する権利があります。
3. プライバシーを保護される配慮を受ける権利があります。
4. 医療費の請求の明細について説明を受ける権利があります。
5. より良い医療を受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加する権利と他の患者様や医療従事者に支障を与えないよう配慮していただく義務があります。

ご希望の方は カルテ等(診療情報)を 開示致します



提供できる診療情報

- 診療録(カルテ) ●検査結果
- レントゲンフィルムなど・・・

※その他、診療を目的として、病院が作成した記録

申請対象者

患者様本人

開示に関する費用

①基本料金＋②実費

- ①基本料金 開示申請1件につき → 315円
- ②実費

閲覧	カルテ1冊毎に210円	
謄写交付	複写機により複写したもの	用紙1枚につき21円(A3判は42円)
	フィルム等のコピー	フィルム1枚につき525円

手続き

【受付時間】 月～土 8:00 → 17:00
1F医療相談窓口にて

申請に必要な物

診療録等開示申請書 身分証明書 印鑑 本人でない場合は委任状
詳細は1F医療相談窓口にてお知らせいたします

●申請までの流れ

申請申込書の提出

開示委員会にて検討

開示

開示できない場合もございますので、ご了承ください。

お問い合わせ

1F 医療相談窓口でお尋ね下さい。
お電話でのお問い合わせは TEL 092-608-0001

医療法人財団 池友会 福岡和白病院